

第84回千葉県地域メーデーメッセージ

連合千葉会長 黒河 悟

第84回千葉県地域メーデーに参加の皆さんに連帯のご挨拶を申し上げます。

昨年の総選挙では私たちが応援した民主党が惨敗し、再び自民党を中心とした政権の復活となりました。安倍政権は、発足後から「景気回復、デフレ克服」を掲げ金融緩和や財政出動などにより緩やかなインフレを実現しようとしており、またそのために経営団体に賃金の引き上げを要請するなどこれまでとは違った状況となっています。

このような中、連合は「傷んだ雇用と労働条件の復元」を掲げ、14年間下がり続けた賃金水準の回復を目指し2013春季生活闘争を積極的に取り組みました。結果は、定期昇給や一時金の確保、そしてベアの獲得など前進回答を引き出しましたが、本部集計によると300人以下の中小零細では昨年水準と比べても厳しい状況が続いています。春季生活闘争の取り組みは続きます。地域での未決着の組合への一層の支援をお願いしたいと思います。

さて、安倍総理は、経営団体へ賃金引き上げの要請をしましたが、政府が本当にやらなければならない労働政策はもっと別なことです。政府がやるべきことは、安定した雇用を創り出すことや最低賃金の引き上げなどの働く者全体の労働条件の制度的な底上げをはかることですし、また不安定な働き方を余儀なくされている非正規労働者の処遇改善へ向けた法整備などです。まずは、この4月から実施された「労働者派遣法」、有期雇用に関わる「労働契約法」、65歳までの雇用に関わる「高齢者雇用安定法」などの確実な実施と残された課題への真摯な対応が求められています。

しかし、安倍政権を支える有識者には、小泉内閣で金融担当大臣を務めた竹中平蔵氏をはじめ雇用労働分野の規制緩和を唱え続ける人が顔を揃え、すでに解雇をしやすくするよう法律を見直ししようという動きや、前に一度潰れた残業代を払わない「ホワイトカラーエグゼンプション」の導入をちらつかせるなど、予断を許しません。

安倍政権は、7月の参議院選挙を睨んでこれらについてはまだ方針を明確にしてはいませんが、選挙の結果によっては、一挙に実施してくることが考えられます。そのことひとつを取っても勤労者にとって、この夏の参議院選挙は極めて重要な選挙です。

3年余の政権で国民の期待に十分応えきれなかったことはあるかもしれませんが、働く者、生活者、納税者の立場に立つ政党は民主党です。9産別の比例組織内予定候補者と千葉選挙区の長浜予定候補者の必勝に向けて全力で取り組むよう心よりお願いするところです。

メーデーは、世界中の働く仲間が連帯を確認する日です。この数年、リーマンショックや欧州債務危機に翻弄され、働く者の雇用や労働条件が脅かされているのは世界共通の課題です。この課題を克服するためには、グローバル社会と言われる今こそ、働く者の国際的な連帯が必要です。本日開催の地域メーデーにおいてメーデーの歴史と意義への理解が図られ、また本日の参加者の皆さんを通して地域で働く人達の連帯と絆が深められますことを心より期待し、連合千葉からのメッセージとします。